

情勢報告（令和8年2月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

来年度をより良くするために！

～ミニトマト部会反省会～



反省会の様子

1月23日、JA高知県れいほく園芸部ミニトマト部会は反省会を開催し、部会員4名が参加しました。

普及所からは、今年度実施した県外視察や高温抑制資材の試験結果の報告、来年度に向けた高温対策の紹介を行いました。

参加者は活発な意見交換を行い、「栽培品種を変更して増収につなげたい」「新しい資材を使ってさらに高温を抑制したい」など、来年度に向けた前向きな意見が聞かれました。

普及所では、部会全体の収量・販売額増加を目指して、関係機関と協力しながら栽培指導・支援を行っていきます。

地域の農地を守るために！

～斗賀野地区視察研修～



機械、施設の見学

2月4日、嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会で斗賀野地区への視察研修を開催し、部会員4名が参加しました。

普及所は、視察先の提案や、視察先への依頼、事前準備等について支援しました。

参加者は、「各作業はどのように分担しているか」「農地の割り振りなどは地域の人とどのように調整しているか」など、地域の農地を守る仕組み作りに向けて、活発に意見交換しました。

普及所は、今後も、嶺北地域の農地を守るために、関係機関と連携しながら支援していきます。

「れいほく園芸研究会」の活動成果を報告！～JA高知県れいほく園芸部総会にて～



報告の様子

2月13日、JA高知県れいほく園芸部の総会が開催され、園芸部会員27名とJA10名、関係機関10名、普及所5名が参加しました。

総会の後半では、「れいほく園芸研究会」の実績報告をJAと普及所の担当者が行いました。この研究会は園芸部の様々な課題に対し、普及所とJA及び園芸部が連携して取り組むため、今年度から活動を始めたもので、総会での報告も今回が初めてとなりました。報告は、重点的に取り組んだ「増収・安定出荷」と「高温対策」に関する活動成果について行い、参加者からは「高温対策資材については、さらに検討が必要では」などの意見をもらいました。

普及所は、この活動を次年度も続け、「れいほく八菜」の発展につなげていきます。

今年の稲作に向けて！
～大豊町米づくり勉強会～



勉強会の見学

2月15日、大豊町役場で町内で稲作を行っている方を対象に、米づくり勉強会を開催し、15名が参加しました。

普及所からは、秋から春までの土づくりから始まり、育苗、田植え、病虫害防除など、稲作に必要な基本的な作業や栽培管理について研修しました。また、勉強会では質問カードを配り、質疑・意見交換の場で、質問カードの内容に回答するなど、工夫しました。

参加者は、「普段やっている作業の意味が理解できた」や「普段疑問に思っていることが聞くことができ良かった」など、色々な意見や感想を聞くことができました。

普及所は、今後も、勉強会や現地検討会を通して、大豊町の稲作について関係機関と連携しながら支援していきます。